

人がかわれば、世界がかわる。

よくものを考え、判断し、正しいことを実行することができますように(朝の祈りより)

Sincerely

たいせつなあなたへ

震災から間もないある日、こんなことがありました。数人の6年生が募金活動をさせてほしいと校長室を訪れ、15日卒業式の朝、募金箱をもって校門に立ったのです。その姿は他の子どもたちにどう映ったでしょうか。一人でも困っている友だちがあれば助けたいという心は、このようにして育っていくものなのでしょう。私は感動しました。そしてこの行動力こそ、ノートルダムの教育のひとつの証だと思ったのです。

信仰の本質は愛です。他者へのかかわりを、行動を通して示していくことです。子どもたちのこの体験はきっと、これから的人生のさまざまな局面で生かされていくことでしょう。

私たちは、持っているものしか人に与えることはできません。きらきらとした好奇心を満たしながら歩んでいくこれからの日々、どんな環境のなかで何を得るかが、あなたにとってとても重要なことになるでしょう。

人は人を幸せにすることができます。そして人を幸せにできる人は、自分をも幸せにできるのだと、思いませんか。私は、たいせつなあなたが、どんな時にも信じる道をまっすぐに歩いて行ける力をともに育んでいければと望んでいます。

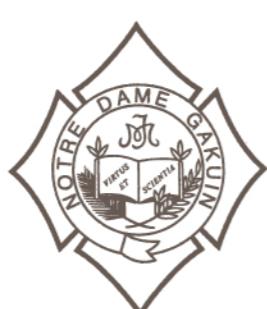
ノートルダムでは、6年間、あたたかな雰囲気のなかで、さまざまな体験を通して一人ひとりが豊かな感性を身につけます。そして、人の役に立つ生き方の土台を、この6年間で学びます。また、年に何回かは社会人として活躍している卒業生を招待し、彼らの生き様を語っていただく機会を設けています。卒業生であることに誇りを持って生きるその姿には、子どもたちだけではなく私たち教師も、大きなよろこびと希望を感じずにはいられません。

900人以上の子どもたちのこの大家族のなかで、互いに磨き磨かれあって、ともに人々の幸せと世界平和の実現に貢献できる人間に。その仲間に、あなたを迎えることのできる日を、今から楽しみにしています。

最後に、東日本大震災で被災されたみなさまとそのご家族に心よりお見舞い申し上げますとともに、力と希望をもって一日も早い復旧・復興を果たされますよう祈りを捧げます。

4月24日 主イエス・キリストの復活の日に 校長 シスターべアトリス田中範子

Sister Beatrice Tanaka



よく祈り、よく学び、持っている力をよく伸ばし、それを使って、人に奉仕しよう
ノートルダム学院小学校

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1-2 TEL 075-701-7171 FAX 075-712-6170



[絵・6年 千振真明子]

一人ひとりの
個性を認め、可能性を
ひらく教育

講演会演題
入学希望者対象
平成23年5月14日(土)
公開授業・講演会
「ハテナからはじまる
学びのチカラ育て」
塩瀬 隆之 氏(本校保護者)
※事前の申し込みが必要です。
詳しくは下記、本校ホームページまで



教会の暦に合わせ神の教えや考え
を学び、「祈り」を通して命のつな
がりと大切さを知る宗教教育、伝
統を誇る英語教育ほか、特色ある
学びの中で、世界的な視野がぐく
自然に培われています。同時に、
世界の中の日本を素直な目で捉え、
母國の特徴、よさを知り身につけ
ることもまた、国際人に求められ
る素养と考えています。

世界的視野を持つた
国際人を育てる

得意分野を伸ばし、それぞれに活
躍の場を与えることで、さらに持
っている力を開花させるのが目的で
あります。幅広く豊かな体験は、お互
いの個性を認めあうことにもつなが
ります。

ノートルダム学院小学校では、学
校行事や体験学習、検定やスポ
ツなどで挑戦の機会を多彩に設け
ています。また、考える習慣をつ
け基礎学力を高める独自のカリ
キュラムを実践しています。子ど
も一人ひとりの能力を尊重して、
得意分野を伸ばし、それぞれに活
躍の場を与えることで、さらに持
っている力を開花させるのが目的で
あります。幅広く豊かな体験は、お互
いの個性を認めあうことにもつなが
ります。